

～ 第15回 「足らざる」を撲滅したい ～

今回は少しまじめに…マラソンで提供するフードについて考えてみたいと思います。

そもそもマラソンのエイドステーションでフードを提供する必要があるのか？地域色を打ち出した多彩なフード構成を競う必要があるのか？マラソンの理念・本質からしてどうなのか？サービスは最低限として参加費を抑えた方が良いのではないのか？…この辺、10人に訊けば10通りの答えがあるのではないかと思います。

そのような中、フルマラソンとしては第1回目となった昨年の函館マラソンでは、フード提供の前例もノウハウも皆無であったことから、昨年の今頃は「何を」、「どのように」提供するか？について、皆でしばし悩んだことを記憶しています。

結論は…折角だから函館の地域色を反映させた多彩なフードを提供して、ランナーの皆さんに楽しんでいただく…となりました。函館は「食」が魅力のまちであり、それが支えとなって「魅力的な市町村」ランキングにおいて、全国1千の自治体の中で何度もナンバーワンの栄誉に浴するような、そのような希有な街だからです。

それゆえに我々、街の魅力である豊かな「食」をマラソンの中に凝縮させるため、まずは「品揃え」の充実し、そうした活動を通じてマラソンのフードとしてはたぶん異例であろう海鮮丼「漁り火がごめ丼」や「冷やし塩ラーメン」、函館および道南の銘菓「チーズオムレット」、「カステラ饅頭」、「丸缶羊かん」、さらに「夕張メロン」、加えてゴール後の振る舞いとして「函館牛乳」、「じゃがバター」、「イカめし」など地域色豊かなフードのラインナップが整い、そして当日を迎えたわけであります。

なお、これら地域を代表する食を提供するにあたっては、それが皆さんから頂戴する参加費のアップに繋がることがないように…多くの企業やお店のご主人から「ご提供」いただきました。要するに多くの皆さんから「心意気」を頂戴したのであります。

ただし、問題はこの場で何度も詳述してきたとおり、そこに「不足」が生じたこと。

16大会は、地域を代表する食の「種類」を整えましたが、17大会に向けては、その「総量」の確保に全力を傾注し、足らざる状況を撲滅したいと考えております。また、新たな挑戦も進めてまいります（次回以降、その詳細をお知らせいたします）。

AID FOOD&DRINK エイドフード&ドリンク							おもてなしイベントでランナーに振る舞い!	
【第7エイド】 五勝手屋本舗 ミニ丸缶羊かん	【第8エイド】 北海道コーポレーション株式会社 コカ・コーラ	【第10エイド】 千秋庵総本家 カステラ饅頭 函館散歩	【第10エイド】 中川青果 夕張メロン、 バナナ、ミニトマト <small>(リッパニミニトマトは第8エイドでも)</small>	【第10エイド】 ベイストリー スナックフーズ チーズオムレット	【第10エイド】 函館市協同組合連合会 漁り火がごめ丼	【第10エイド】 らめん無限、TEPPEN らめんめんきら、出口製菓 はこだて冷やし 塩ラーメン(ジュレタイプ)	●函館牛乳 函館牛乳	
							●函館農水産物 ブランド推進協議会 じゃがバター	
※数量限定 ※写真はイメージです							●プロテック イカめし	

16大会のフード等の概要 (2016 函館マラソン開催記念タブロイド紙から抜粋)